

定期総会ののご案内

東鷹同窓会会長

安 蘇 龍 生

(昭和三十三年卒)



全国の東鷹同窓会会員各位には、ご健勝にお過ごしのことと拝察いたします。今年の川渡り神幸祭は、二日間とも例年になく好天に恵まれ、二台の御神輿と色鮮やかなバレンに彩られた十一台の山笠が彦山川を所狭しと練り周り、風治八幡宮と御旅所（武徳殿）を上下しました。川土手には観覧席が設けられ、周辺には露店が隙間なく並び、六万近くの人出で大いに賑わいました。私どもが子供の頃は、御旅所前広場にサーカスやお化け

屋敷、見せ物小屋等が立ち並んでいましたが、今はなく一抹の寂しさがあります。しかし、まつりIN田川実行委員会主催の『たがわ綱引き選手権』等多彩な催しが繰り広げられ、賑わいは昔と変わりません。この神幸祭に合わせて同期会を催した学年があつたやに聞いています。

さて、昨年は各支部で総会・懇親会が行われましたが、今年は会則により十一月九日（第二日曜日）に本部同窓会の定期総会・懇親会が開催されます。当番は、全日制は昭和四七年・四八年卒、平成三年・四年卒、定時制は昭和四八年・四九年卒、平成四年・五年卒の諸君で、永原譲二幹事長（昭和四七年卒）の下に、例年になく速いペースで取組が進んでいます。これも、前当番期（福高教人幹事長）とのきめ細かな引き継ぎの成果と思えますが、会長としてたいへん心強く感じています。また、今当番期は、定時制四八年卒の朝

部壽君が定時制総括幹事として定時制四学年をとりまとめ、活発に取り組みを進めていることも、特筆すべき特色です。『再会』よみがえれ青春』をテーマに、過ぎ去りし青春のあの日あの時に戻り、旧交を温め合うことが明日を切り拓く糧になることを願って準備が鋭意進められています。総会当日、故郷『田川』の地での明日へと続く皆様との再会を願ひ、全国（海外含む）に散在する二万四千有余名の会員各位に、第三十八期同窓会のご案内を致します。多数の皆様参加をお待ちしています。

また、福岡支部では福岡東鷹会サロン（月例懇親会）を毎月第三火曜日に開催するとともに、ゴルフコンペが定期的に行われていきます。それぞれの支部において、工夫された支部会員の親睦及び支部活性化の取り組みが進み、本部長として大いに励みになっていきます。

同窓会名簿についてですが、本

会では五年毎に改訂をしています。来春新名簿を発刊いたしますが、某業者から本会とは関係のない調査ハガキが会員各位に届いていると思います。便乗商法ですので、くれぐれもお間違えのないようお願いいたします。本会が契約しているのは、大分市の『小野高速印刷』です。頒価も四千五百円です。私の挨拶が掲載されている『小野高速印刷』の調査ハガキには調査御協力いただき、購入についてもよろしくお願いいたします。重ねて、便乗商法には乗らぬようご留意お願いいたします。

最後に、会員各位の益々のご健勝ご活躍と十一月九日（日）定期総会・懇親会での再会を祈念し、挨拶と致します。

